

## 事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(消防に関する施設:湯布院地区防火水槽)整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町湯平倉本・中川水地地区						
補助事業の成果の目標	倉本・水地地区は、消防用水利が整備されておらず、火災の際、迅速な消火活動ができず延焼のおそれがあるため、耐震性防火水槽を設置することによりスムーズな消防活動を支援し、初期消火や延焼を防ぐことを目標とする。 防火水槽整備に伴う受益戸数:倉本地区6戸・水地地区12戸						
補助事業の内容	防火水槽 2基						
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 11,772,000	円	円	円	円	円 11,772,000
	交付金額	10,687,000					10,687,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	完成後、地元消防団による消火訓練を行ったところ、防火水槽があることでスムーズな消防活動の支援が行えるようになっており、本事業が初期消火や延焼の防止に寄与していることを確認した。 地域住民への周知については、工事期間中の工事看板・工事完了後の水利標識に「防衛省交付金」である旨の記載を行い、周知を図った。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注： 1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共施設(消防に関する施設:奥江地区防火水槽)整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町川西						
補助事業の成果の目標	<p>消防用水利が整備されていない集落では、火災の際、迅速な消火活動ができず、延焼のおそれがある。 防火水槽を設置することによりスムーズな消防活動を支援し、早期の消火や延焼を防ぐことが期待できる。 以上の理由により、民生の安定を図ることを目標とする。</p> <p>◎消防水利新設に伴う影響戸数 奥江地区:13戸</p>						
補助事業の内容	防火水槽 1基						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 6,372,000	円	円	円	円	円 6,372,000
	交付金額	6,371,000					6,371,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>完成後、地元消防団による消火訓練を行ったところ、防火水槽があることでスムーズな消防活動の支援を行えるようになっており、早期の消火や延焼の防止が期待でき、民生の安定に寄与することができている。 地域住民への周知については、工事期間中の工事看板・工事完了後の水利標識に「防衛省交付金」である旨の記載を行い、周知を図った。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

- 注： 1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
- 2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(スポーツ又はレクリエーションに関する施設:湯布院総合運動場駐車場整備)整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町川南						
補助事業の成果の目標	<p>当総合運動場は、昭和57年より供用を開始し、現在約33年が経過している。また、近年高齢化が進み高齢者スポーツであるグランドゴルフ及びゲートボール等愛好者が増加し、多目的運動場において数多くの大会が開催されている。このような利用者の増加に伴い、駐車場台数が不足がちとなり、場内まで車が溢れている状況である。調整交付金事業で駐車場を整備する事で、利便性の向上を図ることを目標とする。</p> <p>平成26年度施設利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事実施数:32大会</li> <li>・年間駐車台数:1630台</li> </ul>						
補助事業の内容	駐車場整備・トイレ1基設置						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 25,718,472	円	円	円	円	円 25,718,472
	交付金額	25,710,000					25,710,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>完成後、利用者にアンケート調査を行ったところ「以前は駐車場が少なく停めるところがなかったので、駐車場ができて助かった」、「トイレも綺麗になり、駐車場も広くなりとても便利になった」等9割以上の方から良い回答を得られ、利用者の利便性向上を図ることができた。</p> <p>地域住民への周知については、工事中は工事看板に、工事完了後には駐車場入り口に防衛省交付金である旨の記載を行い周知を行った。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

- 注： 1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
- 2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(交通施設:温泉場幹線)整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町湯平						
補助事業の成果の目標	本路線は、湯平温泉の歴史ある石畳舗装の市道である。 しかし、石畳舗装は目地が痛み、段差も多いため、地域住民の高齢化により歩行し易い舗装への改修(バリアフリー化)要望が提出されている状況である。 要望区間について、歴史ある雰囲気を残しつつも、地域住民の走行利便性の向上を確保するため、舗装の改修を行うものである。						
補助事業の内容	舗装補修工事 延長 L=140.0m 幅員 W=2.2~4.5m						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 7,647,480	円	円	円	円	円 7,647,480
	交付金額	7,030,000					7,030,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	工事が完成し、地域住民から聞き取りを行った結果、「凹凸がなくなり、すべらず安心して通行できるようになった」「石畳の雰囲気が残ри、このような工法があり感心した」等、事業に対し良い評価を得られ、地域住民の歩行性・安全性の向上に寄与することができた。 また、住民への工事案内文書、工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注： 1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

## 事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(交通施設:扇山線)整備事業						
補助事業者名	由布市長						
実施場所	大分県由布市湯布院町湯平						
補助事業の成果の目標	本路線は、新設後20年以上が経過し舗装面(表面)の劣化が顕著に表れている。そのため、ポットホールの補修が絶えず、通行車両の安全が保てない状態となっている。今回、舗装補修工事を行うことにより、舗装面の劣化の改善を図り、地域住民が安全に走行できるよう利便性の向上を図る。						
補助事業の内容	舗装補修工事 延長 L=1050.0m 幅員 W=5.5(7.0)m						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 28,133,352	円	円	円	円	円 28,133,352
	交付金額	28,124,000					28,124,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全区間の工事が完了となり、地域住民から聞き取りを行った結果、「陥没や舗装表面の凹凸がなくなり、安心して通行できるようになった」等、事業に対し良い評価を得られ、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。 また、住民への工事案内文書、工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注： 1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。